2011年実践的防災まちづくりコーティネーター養成講座



受講風景と司会者

≪講義録6限目≫ 投稿者:「防災塾・だるま」 中島光明

◆開催月日: 2011年11月10日(木)

◆開催時間:14:30~16:30 ◆開催場所:KU ポートスクエア

≪講座メインテーマ≫

東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり

◆本日のテーマ◆ 地震防災対策について ~これまでの取組みと課題を知る~

地震防災対策は、これまで地震予知が表看板であったが、阪神・淡路大震災の反省から基本的で総合的な地震調査 研究「長期的な地震予測」の推進にギアチェンジされた。

≪いつでもどこでも発生する可能性を

考えるべき直下地震≫

- ・阪神・淡路大震災以降、地震対策はオールジャパンになった
- ・犠牲者の 7~8 割は倒壊による圧死・窒息死であった ことから「耐震化」が重要な対策に位置づけられた
- 首都直下地震の被害想定調査を実施 (対策大綱、活動要綱などを整備)
- -2009 年新神奈川県被害想定調査を公表



≪講師≫杉原英和氏 (神奈川県温泉科学研究所・次長)





≪神奈川県が想定する地震と被害想定調査:2009 年≫

	Mw	発生確率	全壊	死者
東海地震	8.0	30年87%	12,720	130
大正型関東地震	7.9	30 年 2%	410,620	8,460
国府津一松田断層帯*	7.1	30年16%	117,600	1,500
南関東地震と*連動	7.9		472,660	11,380
三浦半島断層群	6.9	30年11%	250,040	4,350
東京湾北部地震	7.3	30 年 70%	33,660	440

≪まとめ≫

どうして東海で大規模地震が想定されているか?

- -30 年発生確率87%。 Mw8. ○
- -被害想定(神奈川県下) 全壊 12,720 棟 死者 130 名
- 津波予測 相模湾には 20~30 分後襲来(地形的に鎌倉が最大)

